

解答

記号

100	泰山鳴動して鼠一匹	たいざんめいどう ねずみいっぴき
99	袖振り合うも多生の縁	そでふりあうもたしゅうのえん
98	善は急げ	ぜんはいそ
97	梅檀は双葉より芳し	めんだんはふたばよりかほ
96	急いては事を仕損じる	いそいでして事をしそん
95	住めば都	すめばみやこ
94	好きこそものの上手なれ	すきこそものの上ようず
93	知らぬが仏	しらぬがほとけ
92	初心忘るべからず	しよしんわす
91	朱に交われれば赤くなる	しゆにまじればあかくなる
90	失敗は成功の基	しつぱいはせいこうのもと
89	親しき仲にも礼儀あり	したしきなかにもれいぎ
88	地獄の沙汰も金次第	じごくのさたもかねしだい
87	三人寄れば文殊の知恵	さんにんよればもんじゆのちえ
86	山椒は小粒でもぴりりと辛い	さんしょうはこつぶでもぴりりとから
85	触らぬ神に祟りなし	さわらぬかみにたたりなし
84	猿も木から落ちる	さるもきからおちる
83	先んずれば人を制す	さきんずればひとをせいす
82	転ばぬ先の杖	ころばぬさきのつえ
81	紺屋の白袴	こうやのしろばかま

ト	成功へとつながる。やがては成功するものだということ。	しつぱいへとながらう。やがてはせいこうするものだとこと。
テ	好きなことには自然とやる気がでてくるから、上手になるということ。	すきなことにはしぜんとやるきがでてくるから、じょうずになるとこと。
ツ	平気でいられるということ。	へいきでいられるとこと。
チ	不慣れた場所でも長く住めば慣れて、良いと思えるようになるということ。	ふなれたばしょでもながくすめばなれて、よいと思えるようになること。
タ	どんなに優れた人物でも、失敗することはあるということだ。	どんなにすぐれたじんぶつでも、しつぱいすることはあるとこと。
ソ	人より先に行動すれば、有利になって相手を制することができるということ。	ひとより先にこうどうすれば、ゆうりになってあいてをせいすることができること。
セ	些細なことも何らかの因縁によって結ばれているものだ。	ささいなこともなんらかのいんねんによってむすばれているもの。
ス	前触れが大きい割に、大したことのない結果に終わること。	まえふれが大きいわりたいて、たいしたことのないけつかにおわること。
シ	良いと思ったことは、ためらわずに急いでやるべきだ。	よいと思つたことは、ためらわずにいそいでやるべき。
サ	物事に慣れて急げたりすることのないように、それを始めたときの心構えや決心は忘れずにいるべきだということ。	ものごとになれていそげたりすることのないように、それをはじめたときのこころがまえやけっしんはわすれずにいるべきだとこと。
コ	自分の技能は他人にばかり使っていて、自分の事には使われていないことのとえ。	じぶんのぎぎょうはたにんばかりつかっていて、じぶんのことにはつかわれていないことのとえ。
ケ	一人ではよい考えが浮かばない凡人でも、三人集まって考えれば、すばらしい知恵が浮かんでくるとのこと。	ひとりではよいかんがえがうかばないぼんじんでも、さんにんあつてかんがえれば、すばらしいちえがうかんでくるとこと。
ク	体が小さくても、意志が強くて才能もあり、あなどることができない者のたとえ。	からだの小さくても、いしがつくてさいのうもあり、あなどることができないものたとえ。
キ	失敗しないように、あらかじめ十分に用心しておくこと。また、そのような用心が大切だということだ。	しつぱいしないように、あらかじめじゅうぶん用心しておくこと。また、そのような用心がたいせつだとこと。
カ	どんなに親しい仲でも、遠慮がなくなると喧嘩の原因になるから、それなりの礼儀を守って付き合うべきだ。	どんなにしたしいなかでも、えんりよがなくなるとけんかのげんいんになるから、それなりのれいぎを守ってつきあうべき。
オ	人は付き合う友人や周りの環境によって、良くも悪くもなるものだということ。	ひとはつきあうゆうじんやまわりのかんきょうによって、よくもわるくもなるものだとこと。
工	焦って事に当たると失敗しやすい。	あせつてことにあたるとしつぱいしやすい。
ウ	世の中は、お金さえあればなんでも自由にできるとのこと。	よなかは、かねさえあればなんでもじゆうにできるとこと。
イ	余計な災難にあわないために、余計なことには手出ししない方がいい。	よけいなさいなんにあわないために、よけいなことにはてだししない方がいい。
ア	大人になって大成するような人は、子どもの時から並外れて優れているということ。	おとなになつてたいせいするようなひとは、こどものときからなみはずれてすぐれているとこと。